

# 2025年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会 釧路地区予選 兼第23回JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道 釧路地区予選

## 開催要項

1. 目的 釧路地区の少年サッカーのレベル向上を図るとともに、2025年度第23回JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会北海道予選に釧路地区代表として出場するチームを決定する。
2. 名称 2025年度全道少年(U-12)8人制サッカー大会 釧路地区予選  
兼第23回JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道 釧路地区予選
3. 主催 釧路地区サッカー協会
4. 主管 釧路地区サッカー協会4種委員会
5. 後援 釧路市教育委員会
6. 期日 2025年8月30日(土)、31日(日)
7. 会場 釧路市民附属陸上競技場
8. 参加資格 ① 2025年度(公財)日本サッカー協会第4種・女子に加盟登録したチーム及び選手。  
② 選手エントリーは16名以上20名以下とし、5年生以下の学年構成とする。  
ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。  
③ ベンチ入りするチーム指導者全員がJFA公認コーチ資格(D級以上)を有することとするが、メディカルトレーナーはライセンスを保有しなくても良い。ただし戦術的な指示やコーチングを行うことはできない。メディカルトレーナー枠を行使する場合は、ビブス等を着用するなど自チームで準備し、大会関係者が把握できるようにすること。  
ベンチには必ず複数の引率指導者が入ることとする。  
④ メディカルトレーナー枠を行使する場合は、事前に大会事務局に連絡し承認を得ること。また、対象となる試合に提出するメンバー表に氏名を記載すること。  
⑤ 本大会参加選手はスポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。  
⑥ 出場チームは審判資格3級以上の審判を1名以上帯同する。  
帯同できない場合は、不帯同審判料を事務局に支払う。不帯同審判料は1試合毎に1名につき3,000円とする。
9. 競技規則 本年度(公財)日本サッカー協会『8人制サッカー競技規則』による。
10. 大会形式 9チームによるトーナメント戦とする。
11. 競技方法 ① 試合時間は12分×3ピリオドとし、第2ピリオドと第3ピリオドの間のみ5分間のインターバルをとる。  
第3ピリオドはコイントスで決定し、中間地点でサイドをチェンジする。再開方法はキックオフとする。  
② 勝敗が決しない場合は、試合終了時に出場選手がPK方式(3名)にて次回進出チームを決する。  
決勝のみ6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式(3名)で決定する。  
延長戦に入る前は5分、PK戦に入る前は1分のインターバルを設ける。  
③ 競技者の数は常に8人(うち1名はGK)とし、必ずしも全員出場する必要はないものとする。  
④ 第1ピリオドのスターティングでの出場予定8人、第1ピリオドの交代要員、第2ピリオドのスターティングでの出場予定の8人、第2ピリオドの交代要員をメンバー表に記載し試合前に提出する。  
※第1ピリオドのスターティングの選手は「1〇」、第1ピリオドの交代要員は「1△」、「第2ピリオドのスターティングの選手は「2〇」、第2ピリオドの交代要員は「2△」と記載すること。  
⑤ 交代要員含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することはできない。  
事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になったときに限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める。(延長戦はピリオドの数に含まない。)  
⑥ 第1ピリオド、第2ピリオドは、予め決められた選手が出場する。  
怪我等で交替する場合は交代要員が出場する。交替で退いた選手は、再び出場できない。(=自由な交代ではない。)  
各ピリオドで登録した交代要員が全て出場してしまった後に、事故・ケガ等のアクシデントで交代選手が必要となった場合に限り、異なるピリオドで登録した交代要員が出場できる。  
⑦ 第3ピリオドは、第1・第2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員も含め誰でも出場できる。  
何回、何人でも出場でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代。)  
⑧ チーム構成は指導者2名以上4名以内、選手16名以上20名以内とする。  
⑨ 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の規律委員会(4種事務局)で決定する。該当チームは、交代要員の中から選手を補充できる。  
本大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。  
⑩ 参加チームは試合開始前にメンバー表を提出する。  
第1試合に提出したメンバーが本大会のエントリー選手となる。  
⑪ ピッチサイズは68m×50mを基本とし少年用サッカーゴールを使用する。  
⑫ 試合球は4号球(公認球)とし、事務局で準備することを基本とする。  
⑬ ユニフォームは正・副2着以上用意する。ユニフォームには背番号をつける。  
⑭ スパイクは固定スタッドとし、レガースの着用を義務付ける。  
⑮ 主審1名、補助審判の1名で運用する。

- ⑩ 準決勝以上の試合においてマッチウエルフェアオフィサーを配置する。  
マッチウエルフェアオフィサーは事務局が指名することとする。

12. ユニフォーム
- ① (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、②以下については、一部本大会の緩和規定として採用する。
  - ② 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ・ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。(正・副の2色については、明確に異なる色とする。ただし、ゴールキーパーのショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと原則として別色が望ましいが、同系色でも良いこととする。なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。
  - ③ ユニフォームチェックは、1試合前(第1試合の場合は試合開始時刻の45分前)に大会本部で行う。
  - ④ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
  - ⑤ アンダーシャツの色は問わないが、シャツの袖と違う色を着用する場合は、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
  - ⑥ アンダーショーツ・タイツの色は問わないが、ショーツと違う色を着用する場合は、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
  - ⑦ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを着用する。大会期間中に選手番号を変更することはできない。
  - ⑧ フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須とし、アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。
13. 全道大会 本大会優勝チームには、2026年4月に開催される「2026年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会兼第23回J A全農杯全国小学生選抜サッカーI N北海道」への参加を義務づける。
14. 参加申込 年度当初のエントリーに変更がある場合は、8月5日(火)までに4種委員長に連絡する。
15. メンバー表 プログラム用メンバー表は、8月20日(火)までに4種総務部長へメールで送付する。
16. 組合わせ 8月19日(火)の第5回監督会議内にて抽選を行う。
17. 開会式 行わない。
18. 閉会式 8月31日(日)の決勝戦終了後に決勝戦会場で行う。  
決勝戦まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを基本とする。
19. その他
- ① 本大会の参加料は1チーム3,000円とする。
  - ② 参加チームは初日に電子登録証(一覧表、電子媒体等)の確認を行う。
  - ③ フリー抽選とする。
  - ④ 全道大会には3級審判員の帯同が義務づけられている。